

# 令和2年度 神奈川県立横浜国際高等学校 指導計画（予定）

教科・科目	<b>知の理論</b> <b>(Theory of Knowledge)</b> <b>(総合的な学習の時間)</b>	学年	2, 3	教科書	(1)Decoding Theory of Knowledge(Cambridge) (2)知の理論(Oxford) (3)「知の理論」(TOK)教師用参考資料(IBO) (4)Theory of Knowledge(ピアソン) (5)知の理論をひもとく UNPACKING TOK (伊藤印刷)など
		単位数	2, 2	副教材	

学習目標	1. 知識の構築に対する批判的なアプローチと、教科学習、広い世界との間のつながりを見つける。 2. 個人やコミュニティーがどのようにして知識を構築するのか、その知識がどのように批判的に吟味されるのかについて、認識を発達させる。 3. 文化的なものの方の多様性や豊かさに対して関心を抱き、個人的な前提や、イデオロギーの底流にある前提について自覚的になる。 4. 自分の信念や前提を批判的に振り返り、より思慮深く、責任意識と目的意識に満ちた人生を送れるようにする。 5. 知識には責任が伴い、知ることによって社会への参加と行動の義務が生じることを理解する。
------	--

学習方法	1. 「知識に関する主張」を裏づける目的で使用されているさまざまな種類の正当化の根拠を特定し、分析する。 2. 「知識に関する問い」を提起し、評価し、答えようとする。 3. 学問領域や「知識の領域」がどのようにして知識を生成、形成するかを考察する。 4. 「共有された知識」と「個人的な知識」を構築するプロセスで「知るための方法」が果たす役割を理解する。 5. 「知識に関する主張」「知識に関する問い」「知るための方法」「知識の領域」の間のつながりを探究する。 6. さまざまなものの方を見方を認識して理解し、自分自身のものの方に関連づけることができる。 7. プレゼンテーションで、実社会の状況をTOKの視点から探究する。
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	エッセイ	所定課題を議論するにあたって、その生徒は、「知識に関する問い」を適切かつ説得力のある方法で分析したか。
	b	プレゼンテーション	TOKの概念が実際の用途に応用できることを、発表者は十分に実証したか。

※『「知の理論」(TOK)指導の手引き』より作成

内容のまとめ	時期	単元(題材)	評価方法
TOKの基本	1年次 1-3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ねらいと評価目標の確認</li> <li>○評価の概要の確認</li> <li>○用語の定義づけの練習</li> <li>○TOK用語の確認</li> <li>・「知識に関する主張」</li> <li>・「知識に関する問い」</li> <li>・「個人的な知識」と「共有された知識」</li> </ul>	プレゼンテーションと議論への取組
知るための方法	2年次 前期	○知るための方法の分析とプレゼンテーション準備	
知識の領域(1)「自然科学」		○知るための方法のプレゼンテーション発表と議論	
知識の領域(2)「人間科学」		○知識の枠組みに応じた知識の領域の分析とプレゼンテーション準備 ○知識の枠組みに応じた知識の領域のプレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
知識の領域(3)「数学」		○知識の枠組みに応じた知識の領域の分析とプレゼンテーション準備 ○知識の枠組みに応じた知識の領域のプレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
知識の領域(4)「歴史」		○知識の枠組みに応じた知識の領域の分析とプレゼンテーション準備 ○知識の枠組みに応じた知識の領域のプレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
第1回TOKプレゼンテーション	2年次 後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○TOKプレゼンテーションの概要の確認</li> <li>○TOKプレゼンテーションの準備</li> <li>○教員との面談①～③</li> <li>○TOKプレゼンテーションの発表と議論</li> <li>○TK/PPD(プレゼンテーション計画書)の記入と提出</li> </ul>	プレゼンテーションと議論への取組 第1回TOKプレゼンテーション
知識の領域(5)「芸術」		○知識の枠組みに応じた知識の領域の分析とプレゼンテーション準備 ○知識の枠組みに応じた知識の領域のプレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
知識の領域(6)「倫理」		○知識の枠組みに応じた知識の領域の分析とプレゼンテーション準備 ○知識の枠組みに応じた知識の領域のプレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
TOKエッセイ		<ul style="list-style-type: none"> <li>○TOKエッセイの概要の確認</li> <li>○所定課題の選択とエッセイの計画</li> <li>○教員との面談①</li> </ul>	
第2回TOKプレゼンテーション	3年次 前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○TOKプレゼンテーションの準備</li> <li>○教員との面談①～②</li> </ul>	第2回TOKプレゼンテーション TOKエッセイドラフト
TOKエッセイ		○教員との面談②	
第2回TOKプレゼンテーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員との面談③</li> <li>○TOKプレゼンテーションの発表と議論</li> <li>○TK/PPD(プレゼンテーション計画書)の記入と提出</li> </ul>	
TOKエッセイ		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ドラフトの提出</li> <li>○教員との面談③</li> <li>○TOKエッセイの提出</li> </ul>	
TOKのまとめ	3年次 後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○TOKの成果の共有</li> <li>○TOKの振り返り</li> </ul>	プレゼンテーションと議論への取組 TOKエッセイ